

教員名

辻本乃理子

企画名 第3回I-1グランプリ「神戸プリン」をもっと地元の人に愛される商品にするためには

商品開発型  
企業



神戸プリンをもっと  
地元の人に愛されるには

"How to love Kobe pudding more locally"  
"In this seminar, we will discuss this."

#### 企画・活動概要

第3回I-1グランプリにおいて、協力企業であるトーラク株式会社の「神戸プリン」を題材に、神戸のまちへの愛着とまちづくりの視点から商品の新たな価値を考察し創造する取り組みを行なった。

#### 経緯・背景・目的

研究演習 I の講義としてI-1グランプリへの参加を課題としている。I-1グランプリの課題への取り組みは、通常の講義では得られないものであり、また学生自身の達成感と今後の課題が得られるものとして参加している。

#### 取り組む課題

3チームがエントリーした。サブテーマである「地元(神戸)の方に近隣への手土産や贈り物として利用していただくにはどのような取り組み、アプローチ方法があるか」「地元(神戸)の方に自分用のデザートとして購入していただくにはどのような取り組みアプローチ方法があるか」「女性に神戸土産として利用していただくにはどのような取り組みアプローチ方法があるか」について各1チームが課題に取り組んだ。

#### 本学(学生)の役割

企業の抱える課題に対する解決の方法を考察し、提案を行う。

#### 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

コンテストの結果としては、3チームとも予選通過を果たさなかった。コンテストに参加することにより、チーム労働の大変さ、ゼミ内だけでなく他の発表者のすばらしさを知ることができ、自身のチームの課題を見つけることができた。また、企業の方からの質問が自分たちが思っている以上に詳細で厳しいものだと理解した。学生が身につけた能力としては、プレゼンテーション能力、市場調査などの調査研究の方法、商品企画の方法、コミュニケーション能力、チーム労働などである。

#### 指導教員および関係者の紹介

協力企業:トーラク株式会社

指導教員:人間社会学部人間社会学科准教授 辻本乃理子

参加学生:研究演習 I (2年生) 今田優仁、古谷大地、田代嵐、藤原大樹、光枝裕人、横井暁登、木村晃樹、佐伯健太、武田斉、有田理邦、鈴木領悟、木寅尚、常田真志